

令和5年度 第1回岐阜市民病院経営強化プラン策定懇談会 議事録(概要)

日時 令和5年10月6日(金) 14時～15時30分(1時間30分)

場所 岐阜市民病院 西診療棟4階サルビアホール

出席者 広瀬 洋座長、岩田 麻里構成員、川崎 賢二構成員、後藤 東洋士構成員、
富田 栄一構成員、日比野 祥敬構成員、森島 直人構成員、岩間 亨構成員、
山田 誠構成員、大野 賢司構成員、葛谷 命構成員

議 事 内 容

1 開会

2 病院事業管理者あいさつ

3 構成員・座長紹介

4 意見交換

◆ 事務局より資料に基づき説明

◆ 出席者の意見

※総務省が策定した「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」に基づき、岐阜市民病院経営強化プラン(案)を作成。その中で「6つの取組の柱」として分類した岐阜市民病院の経営強化に向けた取組を中心に、意見交換を行った。

【取組の柱1:役割・機能の最適化と連携の強化】

- ・ AYA世代のがん患者に対して、外来化学療法など継続した治療への支援が行われている。当院はがんの先進病院であるため、日本がんサポーターズケア学会の名称に合わせ、「患者支援体制」という記載を「がん患者のためのサポーターズケア」に変更したほうがよい。
- ・ 救急診療体制の強化に関して、新興感染症への対応を記載するとよい。
- ・ 患者の紹介、逆紹介を更に推進する上で、慢性期に移行した患者は地域の医療機関につなぎ、当院は急性期の患者を診療していく形にすることが、医療従事者の負担軽減にもつながる。また、患者の紹介、逆紹介を推進していくにあたり、事務処理の簡便化も進められるとよい。
- ・ 地域の医療機関との連携という観点では、周術期の口腔ケアは岐阜市歯科医師会が協力できる部分である。

【取組の柱2:人材の確保・育成と働き方改革への対応】

- ・ 本プラン(案)中に薬剤師に関する記載が少ない。当院は岐阜市立の病院であるため、同じ岐阜市立である岐阜薬科大学と連携し、薬剤師の育成と確保に取り組んでいくことを記載するとよい。
- ・ 看護師や薬剤師だけでなく、歯科衛生士の確保も困難になってきている。

【取組の柱3:新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組】

- ・ 新興感染症への対応として、BCP(事業継続計画)を本プランに記載することには賛成である。
- ・ 医療従事者の派遣に関する取組として、当院が行っている消化器内科の医師派遣や揖斐厚生病院への小児科医師の派遣は二次医療圏を超えた取組であるため、「取組の柱1:役割機能の最適

化と連携の強化」に記載してもよい。

- ・大きな災害発生時など有事の際には行政機関との連携が大切であるため、「地域や医療機関との連携」という記載に「行政」を追加したほうがよい。
- ・令和6年4月からの医師の時間外労働規制の開始に伴い、現在当院では様々な医師の働き方改革を進めている。また医師だけでなく、看護師、コメディカルなど全ての職種について働き方を見直す取組を進めていく。
- ・当院でも看護師の確保と定着が大きな課題となっている。時代に合わせた新人職員への教育や中途採用者の対象年齢の引き上げ、60歳以上の看護師（プラチナナース）の活用などにより看護師を確保し定着させ、当院として地域への貢献を目指す。

【取組の柱4:施設・設備の最適化】

- ・病院の施設整備計画については、純損益とキャッシュフローを考慮し、根拠に基づく予算を立てながら計画していただきたい。
- ・DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進は経費や人件費などの節約につながるため、どの業務を効率化する必要があるのか、どれくらい人件費が削減できるのかを検討しながら進め、職員給与費対医業収益比率が下げられるように努力する必要がある。DX（デジタルトランスフォーメーション）人材の確保は、全国的にも非常に難しい課題であるため、工夫して取り組んでいただきたい。
- ・外来化学療法や血液疾患への対応が岐阜市民病院の強みであるため、中央診療棟の整備計画を検討するにあたっては、血液内科の特殊な病棟を配置することなども計画に入れるとよい。

【取組の柱5:組織のあり方検討と働き甲斐のある職場づくり】

- ・人材確保を進めるため、福利厚生などの充実を図り、「市民病院で働く魅力」を高めていくことが大切である。

【取組の柱6:経営の効率化等】

- ・新規入院患者を確保するためには、かかりつけ医との連携強化が大変重要である。かかりつけ医との連携カンファレンス等を実施することなど具体的な内容を記載するとよい。
- ・岐阜県が策定する次回の外来医療計画の中に、高額医療機器を「地域で共通して使って行きましょう」という内容が盛り込まれる予定であると聞いている。高額医療機器の更新に関して、岐阜県の外来医療計画に沿った記載を盛り込んでいただきたい。
- ・経営効率化のため、医薬品等の在庫は極力持たず必要最小限の在庫残高を維持していく病院運営を意識し、経営に取り組んでいくとよい。

5 閉会